

2021年5月 在ルクセンブルク日本大使館

今回は、ルクセンブルクにある、マンガ・アニメキャラクターのフィギュアを製造している会社について、ご紹介したいと思います！そう、この国にはそのような会社があるのです。「Tsume」というこの会社は、おもちゃの人形ではなく、例えば、「ドラゴンボールZ」のピッコロが悟飯を助けて、彼のキャラクターが変わったことを示すような、マンガやアニメにおける象徴的なシーンを再現する作品を制作しています。

「Tsume」は、2010年にルクセンブルクで設立されて以来、コレクター向けフィギュアの市場で揺るぎない地位を確立してきました。日本の著名なライセンス保有会社との協力により、Tsumeは世界のコレクターのためにさまざまな作品を生み出してきました。同社は集英社、東映アニメーション、テレビ東京、講談社などのマンガ・アニメ界の主要企業から大きな信頼を得ています。また、ルクセンブルク南東部の都市、モンドルフ・レ・バンで定期的にファンイベントを開催しています。

ライセンス担当の副社長であるリュック・デ・リベイロ氏によると、Tsumeは「納品時の品質」を非常に重視しているそうです。これは、同社のウェブサイトに掲載されている美しい写真と同じ品質のもの

が家に届くことを待ち望む顧客の期待に応えるためです。そのために、プロジェクトのコンセプトから物流までを丁寧に行い、すべての商品を権利者と協議して検証し、定期的に中国の量産工場に品質管理チームを派遣する（現在はコロナウイルスの影響で難しいですが）など、同社のチーム全員が高い品質の維持に力を注いでいます。

しかし、Tsumeはフィギュアを販売するだけの会社ではありません。

同社は、現在、ボードゲームや衣料品、そして日本的スタイルを採用したオリジナルのマンガも制作しています。Tsumeはフランスの専門出版社クロカワと共同でこのプロジェクトに取り組み、最初の2つのマンガ（それぞれ約180ページ）は各2万部が印刷されました。「日本のように編集レベルで大規模なチームを編成し、マネジメント委員会を設置して、しっかりとしたものを作るという手法を採用しました」とCEOのシリル・マルキオー



ル氏は語ります¹。目標は 40 巻程度の制作とそれらの各言語への翻訳です。

さらに、同 CEO によると、Tsume はアニメを制作し、Netflix で独自のシリーズを展開したいと考えているそうです。さらに、将来的にはビデオゲームの開発も視野に入れているとのこと²。彼らの挑戦はまだまだ続きます。



“Athena HQS+” by TSUME, 2020
(SAINT SEIYA)



“Tobirama Senju XTRA”
by TSUME, 2018
(NARUTO SHIPPUDEN)



TSUME 制作のマンガ表紙
« Ragnafall » and « Imperium Circus » (2018)

¹ <http://www.lessentiel.lu/fr/luxembourg/story/tsume-est-entree-dans-la-bataille-du-manga-10432981>

² <http://www.lessentiel.lu/de/luxembourg/story/luxemburger-kreativfirma-will-netflix-erobern-21176989>